

黒保根支所庁舎太陽光・蓄電池設備設置工事の完成

1. 事業の目的

黒保根町の地域防災拠点である支所に、再生可能エネルギーを利用した非常電源の確保を図り「災害に強く低炭素なまちづくり」を推進する。

2. 財源

群馬県再生可能エネルギー等導入推進基金（グリーンニューディール基金）補助率 10/10

※県基金の概要は裏面参考を参照

3. 工事内容

施行場所：黒保根支所（庁舎及び車庫）

事業費：33,858,000円

竣工日：平成28年3月18日

施工業者：田島電気株式会社（広沢町間ノ島）

太陽光発電：20kW（2か所の車庫にそれぞれ240Wのパネル42枚設置）

蓄電システム容量：30kWh（リチウムイオン蓄電池15kWh×2）

4. 電気の運用など

- ・通常の業務日は、太陽光発電と電気事業者から購入した電気（商用電源）で需要を賄う。
- ・雨天や夜など発電できないときは、商用電源で運用。
- ・休日は、基本的に太陽光発電で賄い、不足する場合は商用電源を使用。
- ・蓄電池は、常時満充電状態にしておき、災害時等に使用。

5. 発電の状況

平成28年4月の状況

2,301.45kWhで、1日平均76.72kWh（一般家庭約6軒分）

6. 事業効果

①災害時に電力供給が遮断された際に、必要最小限の電源として72時間（3日間）まかなえる電力の蓄電

②支所の電気使用量の削減（昨年度との比較）

	平成27年4月	平成28年4月	削減量	削減額(※1)
月合計	7,687kWh	4,955kWh	2,732kWh	約48,000円
1日平均	256.2kWh	165.2kWh	91.1kWh	—
開庁日平均	384.4kWh	247.8kWh	136.6kWh	—

※1 削減額は、昨年の電気事業者と比較した場合の削減額

本来は、非常電源という意味合いであるが、節電にも寄与する。

(参考) 県のグリーンニューディール基金について

群馬県が、国の平成25年度当初予算に係る「再生可能エネルギー等導入推進基金」の交付を受けて、「群馬県再生可能エネルギー等導入推進基金」を設置し、地域の避難所や防災拠点等への再生可能エネルギー発電設備等の導入を支援しています。基金総額は、18億円で、平成27年度までの事業です。

この基金を活用した(25年度から27年度まで)施設は、県施設は19施設、市町村施設は、16市町村で43施設となっています。また、事務費を含めた総事業費は、約16億円です。

桐生市では、今回の施設整備以外にグリーンニューディール基金を活用した例はありません。

担当：黒保根支所 市民生活課 庶務・税務係 (担当：星野)

電話 0277-96-2111